

仏足 2

前回足の横木取り、正面木取りをしました。ここまでは図面を正確に書いて、その通りに正面と側面の2面
でいらない所を取り除く作業です。それが終わったら、どうしますか？

立体は縦、横、奥行の3次元。正面と側面すでに2面の木取りは終了、ではもう一つの面は？

そう、てっぺんからですね。木の断面を見る感じになります。

ではどうするか？カービングの基本は必要など所を確保したうえで、引き算していくことになります。

断面から見た確保すべきところはどこか？

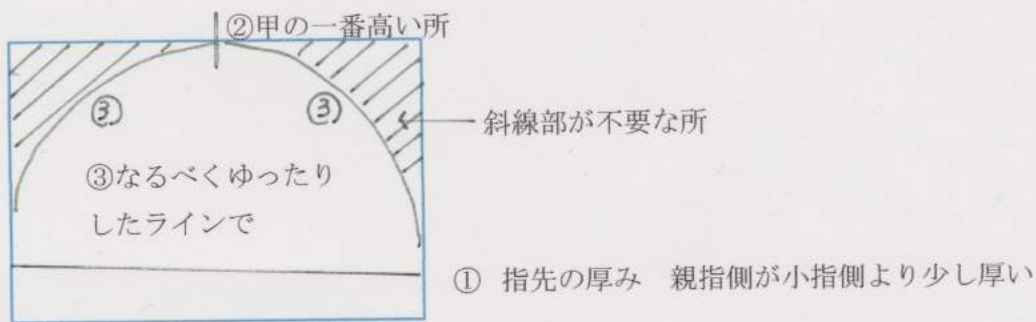
①まずは指先、親指が小指側より少しだけ厚い。その線を書き込みましょう。

②次に 甲の一番高い所を抑える。 大体中央です。

③一番高い所、甲の中央から各親指側小指側に向かってなるべくゆったりしたラインを描く

その時に側面でも必要な部分を確保、親指側は親指の厚みに、小指側は小指の厚みに線を引いておきます。

これだけの線が木の断面にひけたら、いらないが部分（斜線部）がはっきりと分かります。



では、いらない部分を取り切ってください。

必要な所はしっかり確保して、いらない部分はきちんと取りきること。

生徒さんは、結構ここで“抵抗”します。あいまいな線を書いておいて、“怖くて取れません”、と、もたもたの形にします。そのつど、“今、何をすべきか”をしっかりと認識してください。必要な部分をしっかり押さえたら、いらない部分はきっちり、言い訳なしで取りきること。そうしなければ明確に形は出てきません。一つ一つの作業に明確な意思を持ち、きちんとその時点ですべきことをすることです。初心者の方にはちょっと厳しく聞こえるかもしれませんが、大丈夫、少し考え方の基本が身につけば、それは大変なことではなく、だんだんと当たり前のことになっていきますから。



何事も
基本が大事
考え方も
しっかり
身につけてね